

職員による自己評価

A環境面
 床面を整備し段差を解消した。
 公園等を活用し遊ぶスペースを確保している。

B児童への支援内容
 支援計画に基づき個別活動及び集団活動を組み合わせた支援を行っている。
 定期的なアセスメント、面談や職員 MTG を行い、支援内容の確認、評価、改善に努めている。

C関係機関との連携
 相談支援事業所を介して各学校や各事業所等との連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係
 面談、送迎、電話等を通じて連絡を取り合う機会を設け、都度説明、相談、助言を行っている。

E非常対応
 マニュアルを作成し、職員に周知している。毎月の避難訓練を実施している。

保護者による評価

A環境面
 室内の狭さや職員の専門性の見えづらさについてご指摘を頂いている。

B児童への支援内容
 ニーズや課題の分析、日々のすごしについては概ね良い評価を頂いている。長期休暇時のイベントは特に高評価を頂いている。
 更なる支援の拡充を求めるとのご意見も寄せられている。

C事業所からの情報発信
 お子様の課題やニーズ、日々の情報共有については高い評価を頂いている。保護者様に向けての発信はわかりにくいとの評価も寄せられている。

D非常対応
 概ね良い評価をいただいているが、ご利用者様によって避難訓練等への参加頻度に差があるとのことのご指摘をいただいている。



事業所内での分析

【共通点】
 ・ご利用者様のニーズや課題把握、支援の内容については概ね良い評価が寄せられている。送迎や電話対応、面談等の機会を通して迅速な情報共有に努めている部分を評価頂いているのではないかと推察できる。

【相違点】
 ・避難訓練の参加頻度や支援の行き届かなさについてはご指摘を頂いている。
 ・専門性や情報発信は見えにくいとのご意見を頂いているため、更なる情報発信の改善が求められる。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・面談や送迎の引継ぎ時、都度の電話対応などを通じて保護者様との情報共有がしやすい関係作りを心掛けており、ご家庭やご利用者様のニーズを把握しやすい仕組みを構築している。
- ・支援の向上を目指し、定期的なミーティングや内外からのコンサルテーションを受ける機会を設けている。

事業所の改善点

- ・行き届いた支援を目指し、更なるニーズ把握や支援内容の検討を行う必要がある。
- ・職員の専門性を高めるとともに、ご利用者様に還元されるよう支援方法への反映に努め、広報等の拡充や面接での助言等でご理解を深めて頂けるよう「支援の見える化」を推し進める方針で検討を行う。

事業所の改善への取り組み

- ①コロナ禍の影響により令和2年度には十分な研修機会が確保出来なかった実情を踏まえ、様々な研修機会の充実を図ることで職員の専門性向上を目指す。
- ②相談支援事業所を更に活用しつつ、他事業所や学校等との連携強化を推し進める。
- ③広報内容の更なる充実を検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

皆様より日々寛大な評価をいただいておりますが、慢心してサービスの質の低下に繋がることの無いよう職員一同研鑽に励みたいと思います。ご利用者様の日々の過ごしや職員の専門性等に関して外部に向けての発信が足りていない部分、他機関との連携が弱い部分など課題も多々山積しておりますゆえ、この度いただいたご意見を基に今後更なる改善を図っていきたいと思います。

事業所名 児童デイサービスコンブリオ

担当者 齋藤 司音